

令和 8 年 2 月 27 日

令和 7 年度 第 3 回学校運営協議会 議事録

日時：令和 8 年 2 月 27 日（金） 1 5 時 3 0 分～1 6 時 3 0 分

場所：大阪府立堺工科高等学校 図書室

出席：【学校運営協議会委員】皆川委員、土井委員、西尾委員、玉城委員、村田委員、垣添委員

【学校】東≪事務局≫堀江、義永、小寺、安井、吉井、瀧澤、阪本、富澤、濱崎、山内、伊豆田、真田、山本裕、中川

議事内容：

1. 開会のあいさつ

- ・本日 3 年生 149 名全員卒業
- ・ネクストハイスクール構想について
専門高校の強化について挙げられており、本校はバッテリー教育などで外部と連携していく

2. 学校経営計画等について

（1）令和 7 年度学校経営計画の自己評価について

1 人間力の育成

- ・年間遅刻件数について目標達成とならなかった。
教育相談との連携強化など、多角的な指導体制を構築していく
- ・学校生活の満足度（生徒）が目標達成とならなかった

2 工業教育の充実

- ・資格取得の目標数は、生徒数減のため目標達成としない予定（数の確定は年度末）
来年度の目標数を変更する予定

3 地域との連携

- ・企業連携により実施した課題研究をはじめ、発表会で発表した
- ・来年度も声をかけてもらったイベントには積極的に参加する

4 教員の資質向上

- ・各項目において、数値目標の達成だけでなく、生徒を伸ばすための指導力を高めていく
- ・働き方改革について、ワークシェアなど現場でも意識をさらに高めていく

（2）令和 8 年度学校経営計画（案）について

- ・残業時間を 45 時間以内におさめるため、校務の効率化やスリム化を図る内容を記載

（3）進路状況について

- ・学校斡旋内定者 101 名で、あと 1 名が就職で合否待ち
- ・公務員希望者も 1 名合否待ち、結果により進学の可能性あり

（4）令和 7 年度 広報・志願者数について

- ・希望調査の最終は、総合募集 161 名と工学系大学進学専科 7 名

3. 協議（テーマなし）

- ・工業教育の魅力発信について、PTA 内での保護者と教員で交流を強めていく必要がある。
- ・コロナ渦で育った生徒たちは、学力が低い傾向にあり、対策が必要。
- ・PTA に対する教員の意識は、大阪や全国的にどのようなものか。
→全国的にも意識は低く、地域の自治会等の活動も同様に、帰属意識をもたせていく必要がある
- ・堺工に企業説明会に来た際、生徒がしっかりと挨拶をしてくれた。
- ・資格取得に力を入れてくれると、企業側としてはありがたい。
- ・生徒や学校の綺麗さなど、教員の指導が向上しているからではないか。
- ・今年度も評価指標は高く、先生方の努力の成果である。
- ・働き方改革をすすめるには、ちょっとした改善よりも思い切ってやめることも必要である。
- ・AI などの活用により、教員に時間の余裕を生むことが大切である。
- ・また、時間の余裕ができれば、そこで今後の議論に時間を割くことが必要である。
- ・令和 8 年度の学校経営計画は承認。

4. 事務連絡

特になし

5. 閉会のあいさつ

今年度も本校について、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。

次年度に向け、いろいろな点について改善を図っていきます。